

設置申請書

申請日	2008年 5月 27日		
申請者代表	所属	東京大学・情報理工学系研究科知能機械情報学専攻	
	氏名	佐藤 知正	
連絡先	住所	〒113-8656 文京区本郷7-3-1	
	TEL	03-5841-6441	FAX 03-5802-5379
	E-mail	tomomasasato@jcom.home.ne.jp	

名称 (英文名)	ロボット教育研究専門委員会 (Robot Education)		
種別	常設(種) / 時限(種)		(どちらかを選択)
期間	2008年6月1日 ~ 2010年5月31日 (原則2年。それ以外の場合は理由書を添付すること。)		
目的	(設置の目的)ロボット教育(ロボットを対象とした教育、ロボットを用いた教育)は、若い人材の育成や理科帰帰、ソフトとハードを融合できる人材教育、先端的なメカトロニクスやものづくり教育、また、教育を通じた国際貢献という意味で重要な分野である。本研究専門委員会では、ロボット教育に関して、まず現況把握調査を実施し、その理想的なあり方とカリキュラムを考察する。それらを踏まえて、教育認定のありかたを検討するとともに、最終的には日本ロボット学会のロボット教育へのかかわり方を提言としてとりまとめる。		
必要性	ロボットの形と動きは、人々の注意を惹き、若い人を魅了する。それは、人間が形と動きをもった存在であり、我々人間の脳や神経はそれにセンシティブになるようチューニングされているからである。ロボットを、教育の対象としたり、題材とすることは、きわめて効果の高い教育が可能になることを意味している。このようなことから、大学、高専をはじめ、企業、地方自治体、各国がさまざまなロボット教育を実施しているのが現状であるが、それらを体系的に調査研究することで、日本ロボット学会としてのロボット教育へとりくみを提言として取りまとめる必要性は高い。		
委員会等構成	委員長:佐藤 知正(東京大学)、幹事:琴坂 信哉(埼玉大学)、委員:榎原 伸介(ファナック)、谷口 恒(ZMP)、木下 源一郎(中央大学)、細田 祐司(日立)、石原 秀則(香川大)、河村 隆(信州大学)、坪内 孝司(筑波大学)、青山 元(富士重工)、西村 明浩(ZMP) 一年目、二年目に新委員を追加する 小平紀生(三菱電機)、倉爪亮(九州大)、田中孝之(北海道大)、松元明弘(東洋大)、熊谷正朗(東北学院大)、高西淳夫(早稲大)、二井見博文(産業技術短大)、前田貴信(佐世保高専)、松日楽信人(東芝)、松谷宏明(名南工業高)、福田敏男(名古屋大)、稲垣克彦(東海大)、野村泰朗(埼玉大)、田所諭(東北大)		
研究活動計画	下記の項目検討を、メールや委員会開催によってすすめる。 ロボット教育の内容調査、教材調査、教員調査、講習実施状況調査(海外を含む) 望ましいロボット教育のありかたの検討 理想カリキュラムの策定 認定、認証、検定についての検討 海外での人材養成と海外へのロボット教育輸出の検討 日本ロボット学会がとるべき方策提言のまとめ 調査研究委員会の成果の外部発表		
予算計画	会議費 郵送料 報告書作成費		

(申請者は太字枠内を記入してください。各欄の大きさは変更して結構です。)

学会記入欄

受領日	年 月 日
運営協議会審議日	年 月 日
設置承認	承認 / 非承認
運営費交付額	円
備考	